



# 羅針盤

5月、サラリーマンにとってはまさにゴールデンウィーク、最長10連休もあり、加えてコロナの外出規制も解かれて、観光地はきっと賑わうと思いますが、連休終了後のコロナ感染者数には要注目。GWは遠出はしなくても、こどもの日、母の日、家族・お仲間でのふれあいが出る休日が続きます。英気を蓄えましょう。天気予報では梅雨？の字も見え隠れしますが 5月の都内でははやばやと夏祭りも始まります。神田明神の祭を筆頭に、浅草三社祭り、6月は日枝神社山王祭、そして8月には深川八幡祭り（富岡八幡宮）。どの祭りもここ二年は神輿も自粛が続き寂しい行事となっていました、今年には少ない数ながら神輿も担ぎ出されるようです。自粛期間に自然と身についてしまった外に出ることへの用心深さはまだしばらくは必要でしょうが、with コロナで祭りを楽しみましょう。ただ、お祭りには飲食がつきもの。近年は大きな祭りでも「ゴミゼロ」作戦が浸透してきました。燃えるゴミとビン缶などの分別回収に協力し、綺麗な街を汚さない注意も必要ですね。

## Market Forecasts by Y. san - 5月 -

### 鉄スクラップ

4月は指標になる東京製鉄宇都宮の特級価格64,500円/トンでスタートし、終盤66,500円/トンと2,000円上昇。ロシア産、ウクライナ産のスクラップ入荷がない為、アジアの引き合いが強まり、市中の発生も少なく5月は上がると思われます。

### 銅

4月のLMEは10,000ドル/トン、国内銅建値1,310,000/トンで始まり、終盤は2か月ぶりにLME10,000ドル/トンを割り込んだ。中国の新型コロナウィルス感染拡大により、ロックダウンの長期化を懸念。5月は円安の進行からみて上がると思われます。

## 4月予測の自己評価

鉄スクラップ; × 銅 ; ○ アルミ; ○

### アルミ

4月はLME3,500ドル/トンスタート。最終的にはLME3100ドル台まで下がりました。世界の動きを見ると、5月は、今までのように上げ続けることは考えられない。下がると思われる。

### 産業廃棄物

事務所移転が落ち着き、解体物も少なくなってきました。今こそ、分別を再構築する時でしょう。金属スクラップの全般が高い為少しでも高く売ることがポイント。知らないで安売りするようなことは避けたいものです。

## Topics

### 環境省による「国内の廃プラスチック処理状況調査結果」

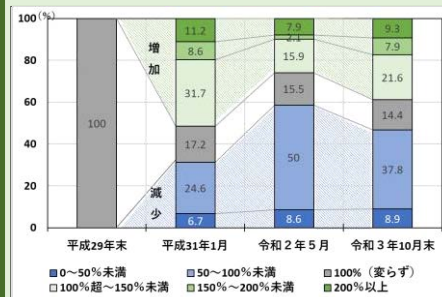
昨年（令和3年）11月に、廃プラスチック類の処理状況を都道府県及び廃棄物処理法で定める政令市（以下、自治体）並びに廃プラスチック類の産業廃棄物処分業（中間処理・最終処分）の許可を有している優良認定業者（以下、処分業者）を対象に、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団が、環境省の請負業務としてアンケート調査を実施し、今年4月に環境省が「国内の廃プラスチック類の処理に関する状況調査結果—令和3年度—（概要版）」として公表しております。

今回は、その報告書から処分業者の処理量の変化と、処理料金の変化の状況を抜き出し、過去のアンケート結果と比較し紹介いたします。その他の状況報告は紙面の都合で割愛しますが、環境省のホームページをご参照ください。

<http://www.env.go.jp/press/files/jp/117912.pdf>

#### ① 廃プラスチックの処理量の変化量とその中間処理施設の割合の状況

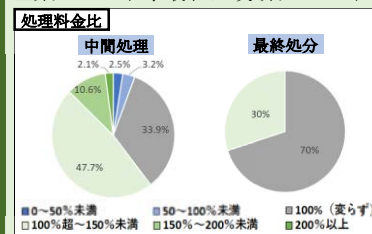
今回の調査時点（令和3年10月末）では、中国輸入禁止直前（平成29年末）と比べて処理量が増加した施設の割合より減少した施設の割合の方が優勢であり、新型コロナウイルス感染拡大による減少とバーゼル条約付属書改正等の輸出規制等による増加の影響が考えられるが、減少と増加の差は「新型コロナ影響最大期」より小さくなっている。



左グラフ中の調査時期は次の通りです、  
平成29年末；  
中国輸入禁止直前  
平成31年1月；  
新型コロナ流行前の最  
逼迫時期  
令和2年5月；  
新型コロナ影響最大期  
令和3年10月末；  
今回調査時点

#### ② 処理料金の変化の状況

輸入禁止措置直前（平成29年末）に比べて、処理料金の比が100%超と増加した事業所は、中間処理業の60.4%、最終処分業の30.0%であった。処理料金に反映できていないと回答した事業所は、中間処理業の26.6%、最終処分業の40.0%であった。



## Series

### 「私のゴルフ人生続編」第2回

営業管理部 長谷川 武史



練習は質より量、これが当時の常識でした。誰よりも早くコースに出て誰よりも遅くまで練習する！研修生同士で「今日1000球打った！」「俺は1500球！」とまさに「気合」と「根性」で馬鹿のように毎日が競い合いの繰り返しでした。余力など残さず、持てる力をその日に全て使い切る！そんな日々を送っていましたので、体はボロボロでしたが自分が進んで飛び込んだ世界ですから日々の辛苦より生き甲斐が勝っておりまして。何故そこまでして練習をするのか？

ゴルフは再現性（同じスイング動作）を非常に重要とするスポーツです。他のスポーツと異なり天候、風の読み（フォロー、アゲンスト）、ライ（ボールのある状態、ラフ、バンカー）、ハザード（池）、グリーン（上り、下り、順目、逆目、ライン）等、人工的に作られたコースですが、同じ状態で球を打つことは皆無と言っていい状況の中、自然を五感で感じ取り自身の技量を受け入れた上で1打1打ベストチョイスをする。あらゆる状況を想定し、普段通りのショットを打つ事が勝負の要となります。それには、圧倒的な練習量で体にスイングを染み込ませる事が当時の練習量という訳です。どんな状況でも自信をもって「ルーティン」を崩すことなく自身のプレースタイルを貫く事、その裏付けが練習です。

全てが自己責任のもと、コースと自身が戦う楽しさ醍醐味がゴルフの魅力であるという事です。私が最後に在籍していた鹿児島空港36CCには8人の研修生が所属しておりました。プロテストへの第一関門である九州地区予選会にエントリーできるのは3人のみです。8人中2人は所属プロとスクラッチ（ハンデなし）で勝負が出来る実力者で、既に当確です！残り「1枠」は私を含め団子状態でした。まず所属コースの代表として九州地区予選会にエントリーする事が現在の目標でした。しかし目標を掴み取る生活の中で最大の問題、それは生活費の確保なのです。皆さん！研修生の給料はとにかく安いのです！給料は手取りで4万円程、キャディー業務でお客様からのチップが月に1~2万円。合計5~6万円も有ればいいほうで、来場者が少ない時はキャディー業務がない分、練習時間が増えますが一銭にもならず、手取り4万以下の月もありました。寮生活のため家賃や光熱費は一切不要ですが、毎月必要経費のゴルフ用品代（手袋・ボール、グリップ交換他）と、月1回コースでの月例プレー費、九州地区予選会会場の練習ラウンドの遠征費等で、どう節約しても月に4万円は必ずかかりました。最も深刻な問題は食費です。朝昼はゴルフ場の食堂に白米だけ用意されていますが、おかずは自腹、夕食は全て自己負担で、毎日自炊でした。深夜までの練習でとにかく腹が減ります！白米代を5千円以内で抑え、おかずは1日200円が限界。そんな生活の打開策が研修生同士での小銭の争奪戦です！方法はご想像にお任せしますが、一打一打が真剣で痺れに痺れます！勝てば外食で好きなものを食べましたが、負ければ、納豆、卵、かつお節、底をついた時はマヨネーズ、醤油、塩などを白米にかけるだけの食事になる事も頻繁にありました。辛い日が続きました。しかし、その窮地を救ってくれたのが今は亡き母でした。・・・続きます。